

会 議 録

名 称	令和6年度第1回坂戸市高齢者福祉及び介護保険事業審議会
開催日時	令和6年8月21日（水）午後2時～午後3時30分
開催場所	坂戸市役所401会議室
出席者の氏名	三ツ森幸子、小田島京子、藤城善己、田中一哉、中島毅夫、 関口久美子、川口茂、川畑著洋、高山仁美、松本正人、杉本政弘、 新井勇、須田正子（13人）
欠席者の氏名	于洋（1人）
事務局職員の職・氏名	福祉部次長兼高齢者福祉課長・福島洋次 高齢者福祉課副課長・小俣利香 同高齢者福祉係係長・水村健太郎、同介護保険係係長・平田文 同介護保険係係長・小澤泰裕、同地域包括ケア推進係係長・小鹿野史昭
会議次第及び配布資料	<p>（会議次第）</p> <p>—委嘱状の交付—（市長から代表者へ交付）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 会長及び副会長の互選について 5 席次の決定について 6 会議の公開について 7 諮問書の手交について 8 議事 <ol style="list-style-type: none"> （1）「高齢者福祉及び介護保険事業審議会」の審議事項について（資料1） （2）坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画第8期の主な実績と第9期の概要について（資料2-1、2-2） （3）坂戸市地域包括支援センター令和5年度事業報告及び令和6年度予算について（資料3-1、3-2） （4）指定介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメントの一部委託について（資料4） （5）その他 9 その他 10 閉会

	<p>(事前配布資料)</p> <p>次第、委員名簿、資料1(「高齢者福祉及び介護保険事業審議会」の審議事項について)、資料2-1(坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画第8期の主な実績について)、資料2-2(坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第9期)～概要版～)、資料3-1(令和5年度坂戸市地域包括支援センター事業報告書)、資料3-2(坂戸市地域包括支援センター運営等業務予算書)、資料4(指定介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメントの一部委託について)</p> <p>(当日配布資料)</p> <p>坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第8期)素案の概要、みんな笑顔で介護保険(利用ガイド冊子)、坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第9期)冊子(新任委員のみ)</p>
議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容
市 長	—委嘱状の交付—(代表:三ツ森委員)
事 務 局	次第1 開会
市 長	次第2 あいさつ(石川市長)
委 員 事 務 局	次第3 自己紹介(委員の自己紹介) (職員の自己紹介)
市 長	次第4 会長及び副会長の互選について 須田委員に会長をお願いしたい旨の発言。全員異議なし。 須田正子委員に会長決定。
会 長	会長あいさつ
市 長	中島委員に副会長をお願いしたい旨の発言。全員異議なし。 中島毅夫委員に副会長決定。
副 会 長	副会長あいさつ
会 長	次第5 席次の決定について 席次について現在の席次のままとの発言。全員異議なし。 現在の席次と決定。
事 務 局	次第6 会議の公開について 原則、公開となっている旨説明。本日の傍聴者なし、と報告。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容
市 長	次第7 諮問書の手交について 市長から会長に諮問書を手交。(市長退席)
会 長	次第8 議事 議題(1)「高齢者福祉及び介護保険事業審議会の審議事項について」を議題とする。事務局から説明願う。
事 務 局	—資料1により説明—
会 長	委員の皆様、何か御質問等あるか。
委 員	—質疑なし—
会 長	ないようでしたら、御了解願う。 続いて議題(2)「坂戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画第8期の主な実績と第9期の概要について」を議題とする。事務局から説明願う。
事 務 局	—資料2-1、2-2により説明—
会 長	委員の皆様、何か御質問あるか。
委 員	資料2-1のP2、(4)②介護給付の適正化の推進ということだが、市のほうで給付が適正かについて調べているということか。
事 務 局	そのとおりである。
委 員	承知した。
会 長	他にあるか。
委 員	フレイル予防の意味を教えてください。
事 務 局	フレイルとは虚弱を表す。健康な方がいて、介護が必要な方もいるが、その間の方となる。介護が必要となる前の段階の体が弱ってきた状態のことである。フレイル予防とは、要介護状態に進行しないように予防することを指す。
委 員	承知した。
会 長	様々な事業があり、高齢者の健康づくりに寄与しているということだが、効率良く回っているのか。
事 務 局	今回の計画においては、75歳以上の後期高齢者は約17,000人おり、今後急激に増えてくる。介護認定率も上がってくるため、フレイル予防、介護予防に努めていこうというのが本計画である。地域包括ケアシステムの推進において、医療と介護、生活支援について地域包括支援センタ

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容
事 務 局	<p>一を中心に地域で連携していく計画である。</p> <p>今回、他市町に比べ、全国的に見ても安く介護保険料が設定されている。これも地域の方々の努力によって実現できたものと認識しており、いかにこれを継続していくかが大切である。課題として見えるものについて、アンケートや委員の意見を伺っていき、介護予防、または利用しやすい制度に向けて努めていきたいので御意見をお願いしたい。</p>
会 長	<p>後期高齢者が増えれば、サービス量も増えるということはあるが、そこを健康な時間を長くして、サービスが先送りできるようになればいい。皆で考えていくことが必要である。具体的なサービスを作るにあたり、より届きやすく、重症化予防に働くシステムや提供の仕方があるといい。坂戸ならではの効果的な仕方もあるが皆で考え、市とも話し合いながら柔軟に変更していけるような考え方はどうか。</p>
事 務 局	<p>必要な時に必要なサービスを利用いただくことが重要である。地域の皆様に知っていただくよう努力していく。</p>
委 員	<p>認定調査員は足りているのか。繋げていくことが大事であり、介護に結びつかないケースもある。認定調査員の数はどうなのか。長い間の待ちなどはないか。</p>
事 務 局	<p>全国的に不足している。ただ、本市の認定にかかる日数も短縮されてきている。介護人材自体の不足は全国的な実情である。</p>
委 員	<p>坂戸市としては介護人材の育成とか養成等の考え方はあるか。</p>
事 務 局	<p>今年度、報酬の改定があり、上乘せの措置はあったが、十分ではないという声はある。市民課にモニタービジョンがあり、介護職のPR動画を流しイメージアップを図るなど対策をしている。</p>
委 員	<p>人材不足はかなり深刻でケアマネージャーの成り手が少ない。人材紹介会社が当たり前の状況になってきており、求人を調べると紹介料が発生してしまうなどの実情がある。介護保険収入は額が決まっており、給料を上げるのが難しくなっている。中小の事業所の倒産など問題があり、坂戸市独自でできることなども検討いただきたいと常々思っている。</p>
会 長	<p>地域の高齢者でサービスが届かないと感じるところもあり、何か良い方法を皆で考えていけたら良い。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容
委 員	認知症高齢者を支える仕組み～「共生」と「予防」～のところで、補助制度とあるが、認知症の利用者自らが契約を結ぶのか。家族が側において契約するなら分かるのだが。
事 務 局	仰る通り、認知症の方御本人で契約することは難しいところはある、実情としては御家族の方が申請等をしている。
会 長	今の説明でよいか。
委 員	承知した。
会 長	他にあるか。
委 員	私は老人クラブの会長であるが、高齢者を相手にしている団体は色々あるが、縦割りになってしまっている。様々な団体でタイアップしてできるともっといいと思っている。世代を跨いだ形でできると望ましいので、地域の中でできる仕組みがあるといい。高齢者はノウハウを持っており、昔の遊び等を小学校で課外教育などとして以前はやっていたことがある。これを高齢者だけでなく、幅広くやると接点が見えてくるだろうし、チャレンジしてみるといい。さかっちバスなどがあるが、今だと移動手段が限られている。
会 長	高齢者だけにとどまらず、皆でやるといいと思う。
委 員	グラウンドゴルフやカラオケ、お達者体操もやっているが、新規の方がいない。趣味がなくて引きこもっている方を外に出したいが、それが上手くいっていない。
委 員	コロナの外出制限が無くなっているが、さらにこの冬、新たな株ができるか分からない状況であるという課題もある。
会 長	議題（３）、「坂戸市地域包括支援センター令和５年度事業報告及び令和６年度予算について」を議題とする。事務局から説明をお願いする。
事 務 局	—資料３－１、３－２により概要説明— （包括ごとに事業を遂行した旨、令和６年度の地域包括支援センターの予算であるが、高齢者の増加で予算額が増加している旨）
委 員	民生委員の立場からであるが、高齢者が増え相談数が増えている。地域包括支援センターの拡充などはどうか。ケアマネ等に応募してくれないので、人数が増えないと聞く。相談窓口も人がおらず相談できないこともある。人数の増加など９期計画で拡充が図られたら良い。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容
事 務 局	包括の業務量が増えて大変だという声も聞いている。後期高齢者が増えており、介護が必要になってくる中で支援が必要な方も増えてくる。認知症の方の周りの家族がキーパーソンになって、職員と連携して支援をしていける。独居の方も増えており、包括支援センターの職員の配置なども課題になってくる。定数なども検討してまいりたい。
会 長	市民も分からないと言っていないで、理解してくれる方を地域で育てていくことも大事であると思う。専門職もそうすれば仕事がしやすくなる。全てをお任せでなく、自分達で考えることも必要である。
委 員	特になし。
会 長	議事（3）について了承頂くことでよろしいか。
委 員	異議なし。
会 長	議事（4）、「指定介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメントの一部委託について」を議題とする。事務局から説明をお願いする。
事 務 局	—資料説明— （一覧中の○が付いているところへ地域包括支援センターから一部委託したものとなっている。各包括ごとに記載されているものである、旨）
会 長	質問等あるか。
委 員	特になし。
会 長	説明のとおり承認いただいてよろしいか。
委 員	異議なし。
会 長	議事（5）、その他について、皆様からあるか。
委 員	もっと市民が気楽に相談できるといい。介護等が必要になってからでは遅いので、若いうちにいざという時にどうしたらいいか、市民が理解しておくことが必要である。
会 長	介護保険は制度で決まっているが、高齢者福祉は柔軟に坂戸市ならではのもの等を考えていきたいと思う。 他に質問等あるか。
委 員	特になし。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容
会 長	議事は全て終了した。議長の任を解かせていただく。 事務局に進行をお返しする。
事 務 局	次第10 閉会 それでは、第1回審議会を終了とさせていただきます。 長時間ありがとうございました。 <p style="text-align: right;">— 終了 —</p>